

CFPコミュニケーションプログラム 意見公募結果報告書

報告日		2014年5月26日			
意見公募実施期間		2014年4月22日 ~ 2014年4月28日			
PCR原案受付番号		PDE-131			
製品の属する分類		建築物(躯体および仕上げ材)			
意見番号	NO.	該当項目	御意見の内容	御意見の理由	御意見に対する考え方
1	2-1	製品種別 中層(5階から15階程度)の建築物に限る。	中層建築物に限定する理由が不明	CFP-PCR原案 3 引用規格 「建物のLCA指針(改訂版)」 第8章 戸建住宅の評価例があり低層でも計算可能	PCR原案策定に際し、中層建築物を対象としてCFP試算をしたため、原案では中層建築物に限定していた。ご意見を踏まえて精査したところ、特に中層に限定しなければならない条件はなかったため、制限をなくすこととした。ただし、構造部が異なる場合はCFP試算結果の傾向が異なることが考えられるため、RC造に限るとした。また、PCRの対象範囲を拡張することを制限するものではないため、今後必要に応じて拡張することを検討したい。以上の旨をPCR原案に追記する。
2	7-2	データ収集項目 「建築資材」製品生産サイトへの投入量	製造に関する一次データの収集が困難な場合に限り、この原単位を使うことを明記すべき	PA-DH-01 携帯情報通信機器 7-2 項 ※1 に二通りの算定方法と優先順位を規定	ご意見に基づき修正する。
3	附属書E	建築部材別更新年数シナリオ(規定)	計画更新年数データをどこからもってきたのか、出典が記載されていない	附属書D: 複合原単位(規定) は、しっかりと明記。 D1: 一般社団法人日本建築学会(2013), 「建物のLCA指針」基準の複合原単位	ご意見に基づき修正する。なお、附属書Eの建築部材別更新年数シナリオについては、あらためて精査をしたところより妥当性が高い資料が見つかったため、それと差し替えることとした。
4	付属書E	建築部材別更新年数シナリオ(規定)	各資材で計画更新年数(年)が一律に決められています。現在、いろいろな資材のCFP-PCRが多数出されている状況で、耐用年数もまちまちです。CO2排出量の少ないものもあります。これらのデータとの整合性を考慮して頂かないと、実情と整合しないのではないかと懸念されます。各資材の業界団体が作成した既存のPCRデータを使用すべきではないでしょうか。複数のPCRが乱立することで、ユーザーや業界関係者に混乱が生じる恐れがあると思われまます。	内部仕上げ、ビニル系及びカーペット系などの計画更新年数が、現CFP-PCR「PA-DB-01(高分子系張り床材:20年)」、「PA-DE-01(カーペット:7年など)」に対し、30年と大きく異なっています。	ご意見に基づき、既存の建築資材関連PCRの更新シナリオを、本PCR原案で引用可能とするよう修正する。ただし、建築物は多種多様な建築資材によって構成されているが、多くの建築資材について対応するPCRが現時点で存在しないため、付属書Eと併用する。
5					